

働くDB オンラインデモ 操作方法ガイド

この度は、働くDBのオンラインデモを閲覧いただき誠に有難うございます。
本資料は、機能毎にまとめたオンラインデモの操作方法ガイドです。

基本操作編

基本操作編では、以下の基本操作について紹介します。

レコード入力

明細入力

CSVインポート

一覧画面と閲覧画面

～はじめに～

働くDBに、ID「demo」 パスワード「demo」でログインすると、以下の画面が表示されます。

このデモ画面は働くDBでできることと貴社の業務イメージを重ね合わせることで有用性を知っていただくためのデモになります。
各メニューにはそれぞれ説明がついておりますのでご自由に操作して実感してみてください。
また、それぞれのメニューがどうやって作られたのかを簡単に説明した資料がホームページにございます。
(URL)是非こちらもご覧下さい。

<弊社への要望等>
もっとこんなデモ画面を見てみたい。一回どんなものか説明を聞いてみたいなどは下記メニュー「質問・要望」または「デモ・説明希望」からご遠慮なくご連絡ください。
お電話でも受け付けております。
TEL:046-949-6699

お試し操作

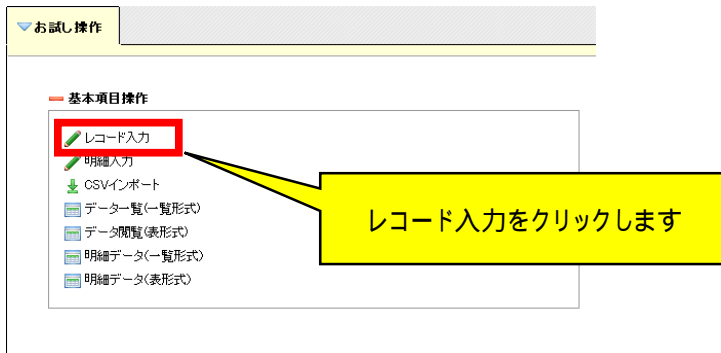
- 基本項目操作
 - レコード入力
 - 明細入力
 - CSVインポート
 - データ一覧(一覧形式)
 - データ閲覧(表形式)
 - 明細データ(一覧形式)
 - 明細データ(表形式)
- 設定操作説明書
 - 操作説明書DL
- お問合せ・資料送付
 - お問合せ・ご要望受付
 - 資料送付・デモ希望

表示切替

基本操作編で紹介する項目です

レコード入力

1. 基本項目操作のメニューから「レコード入力」をクリックします。



2. 設定した項目ごとに情報を入力します。項目によって入力方法が異なります。

<テキストや数値を入力するパターン>

ID (必須)	(自動採番)	
テキスト1行 (必須)	<input type="text" value="株式会社〇〇〇〇"/>	
	<small>文字数制限などの制限をかけることができます。</small>	
テキスト複数行	<input type="text" value="神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央"/>	テキストを入力します
	<small>改行行数の指定が可能です。</small>	
数値①	<input type="text" value="1000"/>	数値を入力します
	<small>マイナス表現、小数点桁数の指定、切り捨て指定等ができます。</small>	
数値②	<input type="text" value="1.05"/>	
	<small>カンマ区切り設定、先頭に固定の文字を付いたりできます。</small>	
数値計算(①*②)	1050	数値同士の計算結果項目を設定することができます
	<small>四則演算、平均、明細の行数カウントなどができます。</small>	

<URL、e-mailを入力するパターン>

URL	URL <input type="text" value="http://www.intermesse.co.j"/>	
e-mail	<input type="text" value="test@intermesse.co.jp"/>	アドレスを直接入力します

レコード入力

< 日時情報を表示するパターン >

日時	2011年 11月 29日 現在	日時情報を表示することができます
時間	16時 3分 19秒 現在	
日時と時間の量の計算	2011年11月29日(火) 16時03分	日時の計算結果を表示することができます
日時と日時の計算	残り...0日です。	

表示タイプの変更や年のみ、年月表示もできます。

「日時」に一定量の時間計算ができます。

「日時」同士で四則演算ができます。「残り…」などの文字を先頭に付けられます。

< プルダウン、ラジオボタンで選択するパターン >

プルダウンで選択します

選択肢(1件プルダウン選択)	1月	ラジオボタンで選択します
選択肢(1件ラジオ選択)	<input type="radio"/> (指定なし) <input type="radio"/> AA <input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C	
選択肢(複数件選択)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>プラン A プラン C</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>+追加</p> <p>-削除</p> </div> <div> <p>プラン B プラン D</p> </div> </div>	リストから複数選択して【+追加】をクリックします 選択を解除する場合はリストから選択して【-削除】をクリックします
ユーザ選択肢(1件)	demo	プルダウンで選択します
ユーザ選択肢(複数件)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>test01</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>+追加</p> <p>-削除</p> </div> <div> <p>demo</p> </div> </div>	リストから複数選択して【+追加】をクリックします 選択を解除する場合はリストから選択して【-削除】をクリックします

ユーザ選択肢は、働くDBに登録済みのユーザが選択可能です。

レコード入力

<ポップアップ画面で検索して選択するパターン>

画面は郵便番号検索用DBにDBリンクを設定した例です。

DBリンク	<input type="text"/> <input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="取得"/>
DBリンクの従属項目	<input type="text"/>

100件までなら分類別のプルダウン形式にすることも可能です。

【検索】をクリックします

検索情報(郵便番号)を入力して[検索]をクリックします

検索結果の[選択]をクリックします

DBリンク	224-0032 <input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="取得"/>
DBリンクの従属項目	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央

100件までなら分類別のプルダウン形式にすることも可能です。

<ファイルを選択するパターン>

ファイル	<input type="button" value="ファイルを選択"/> Book1.xls <input type="button" value="削除"/>
画像	<input type="button" value="ファイルを選択"/> 2.png <input type="button" value="削除"/>

【ファイルを選択】をクリックしてファイルを選択します

3. 入力が完了したら、画面下部の【確定】をクリックします。

<input type="button" value="確定"/> <input type="button" value="キャンセル"/>
--

入力した情報は、基本項目操作メニューの「データ一覧(一覧形式)」で確認することができます。

レコード入力

< 補足: 管理できる項目タイプ >

他にも、DBのデータをエクセルに出力したファイルをレコードにリンクする項目 (働くDBファイル) などがあります。

これらは、DB項目設定一覧で確認することができます。

DB設定 > DB項目設定一覧

DB項目設定一覧(企業情報(基本操作紹介用))

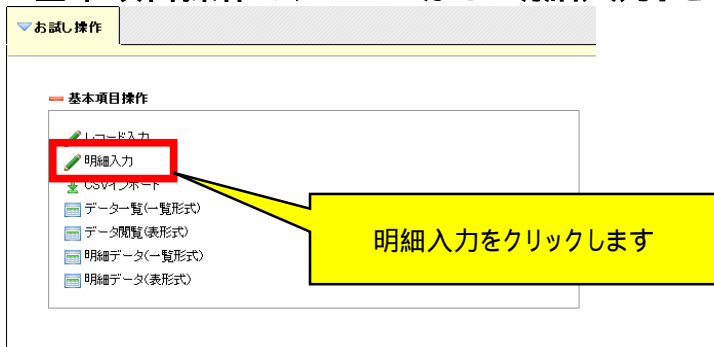
項目	タイプ	
ID	キー項目	<input type="checkbox"/> 明細項目にする
<input type="button" value="追加"/>	キー項目	
このDBのキーとなる項目を設定	テキスト(1行)	
	テキスト(複数行)	設定できます。
	数値	
	数値計算	
	日時	
	時間	
	DBリンク項目	
	選択肢(1件選択)	
	選択肢(複数件選択)	
	ユーザ選択肢(1件選択)	
	ユーザ選択肢(複数件選択)	
	Eメール	
	URL	
	自動採番	
	日時と時間の量の計算	
	日時と日時の計算	
	ファイル	
	イメージ	
	働くDBファイル	

[DB設定に戻る](#)

明細入力

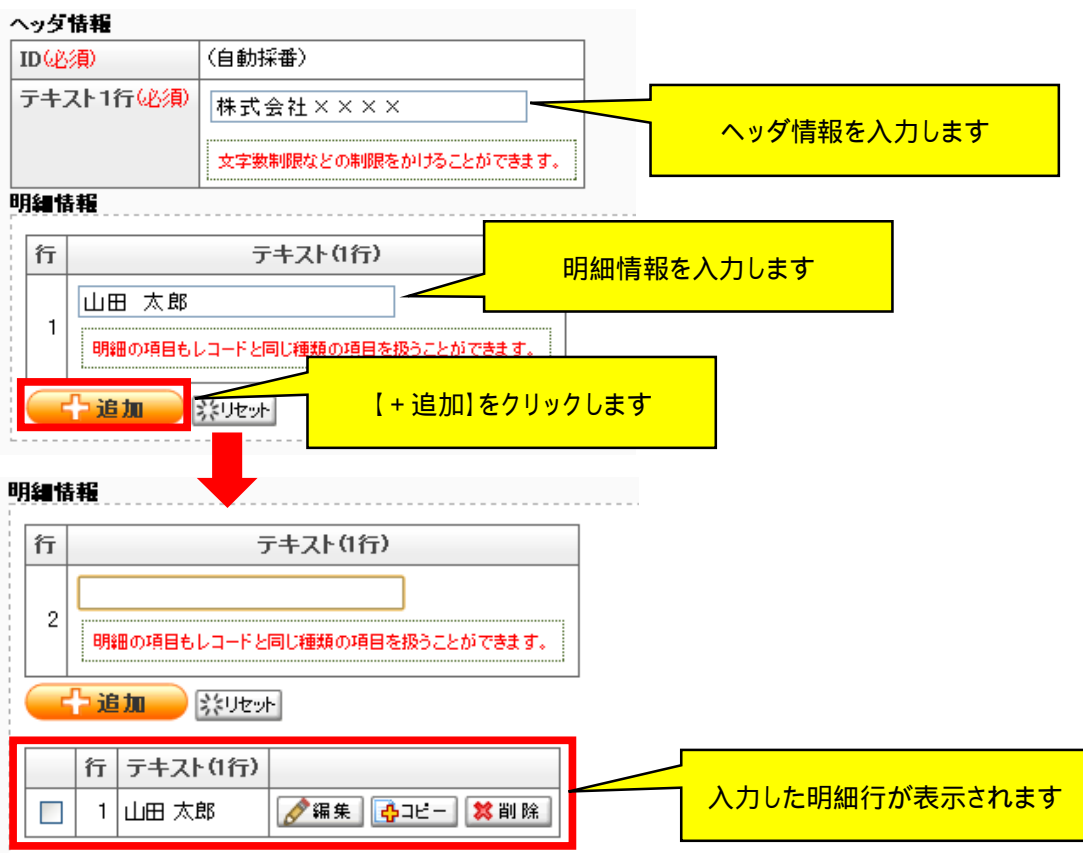
1レコードに対して、複数件のデータを入力する場合は「明細入力」を活用します。

1. 基本項目操作のメニューから「明細入力」をクリックします。



2. 主となるレコードの情報をヘッダ情報に入力します。

続いて、明細情報の項目に情報を入力し、最後に【+ 追加】をクリックします。



3. 入力が完了したら、画面下部の【確定】ボタンを押します。

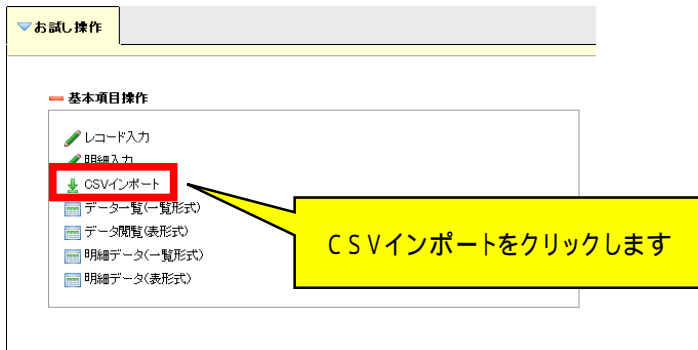


入力した情報は、基本項目操作メニューの「明細データ一覧(一覧形式)」で確認することができます。

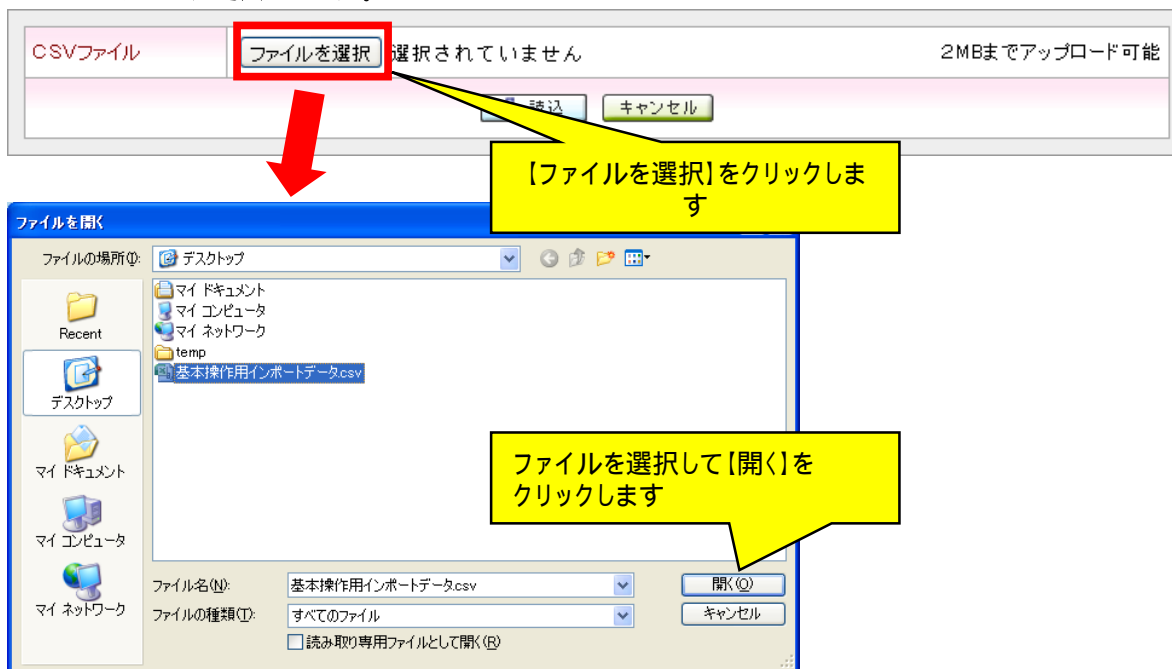
CSVインポート

レコード入力せずに、まとまったCSV形式のデータベースをインポートすることができます。

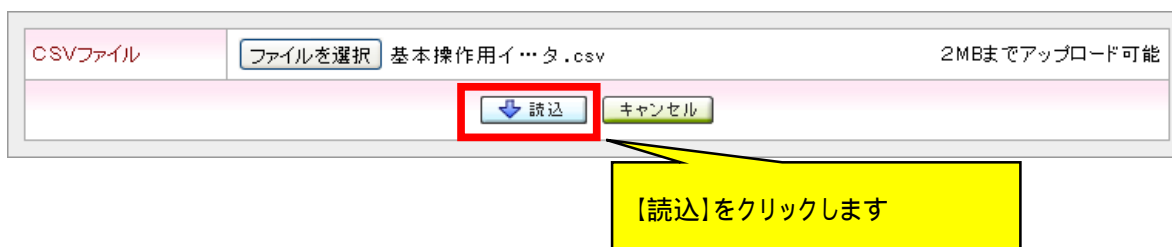
1. 基本項目操作のメニューから「CSVインポート」をクリックします。



2. ファイルを選択します。



3. 【読込】をクリックします。



CSVインポート

4. インポート内容を確認し、【実行】をクリックします。

[TOPへ戻る](#)
[表示切替](#)

[インポート状況確認へ](#)
[インポート方法切替](#)

CSVファイル 選択されていません 2MBまでアップロード可能

インポートデータをデータ開始位置から5件中先頭の5件まで表示 元データを見る

列	1	2	3	4	5	6	7
項目名 タイプ	テキスト1行(必須) テキスト(1行)	テキスト複数行 テキスト(複数行)	数値① 数値	数値② 数値	日時 日時	時間 時間	DBリンク DBリンク項目
1	(この行はスキップされます)テキスト1行,テキスト複数行,数値①,数値②,数値計算(①*②),日時,日時と時間の量の計算,日時と日時の計算,時間,DBリ						
2	株式会社○○○○	神奈川県横浜市都筑区 茅ヶ崎中央	1000	1.05	2011-11-29 00:00:00	16:03:19	224-0032
3	株式会社■■■■■	神奈川県横浜市都筑区 茅ヶ崎中央	2000	1.05			32
4	株式会社△△△△	神奈川県横浜市都筑区 茅ヶ崎中央	3000	1.05			32
5	株式会社●●●●●	神奈川県横浜市都筑区 茅ヶ崎中央	4000	1.05			32

この内容でインポートを行いますか?

【実行】をクリックします



[続けてインポートを実行する](#)

インポートの予約が完了しました。

[インポート状況を確認する](#)

[続けてインポートを実行する](#)

インポート状況を確認する場合は【インポート状況を確認する】をクリックします



[インポート実行画面へ](#)

2011/11/29 19:28:53 (読込時間) [<<最初 | <前の50件 | 次の50件> | 最後>>]

状況	開始日時	インポート名	インポートファイル名	取り消し等	レポートファイル	実行者
	終了日時				エラーデータ	
5件完了	2011/11/29 19:28:03 2011/11/29 19:28:17	CSVインポート	基本操作用インポートデータ_1.csv		レポートファイル.txt	社内開発用

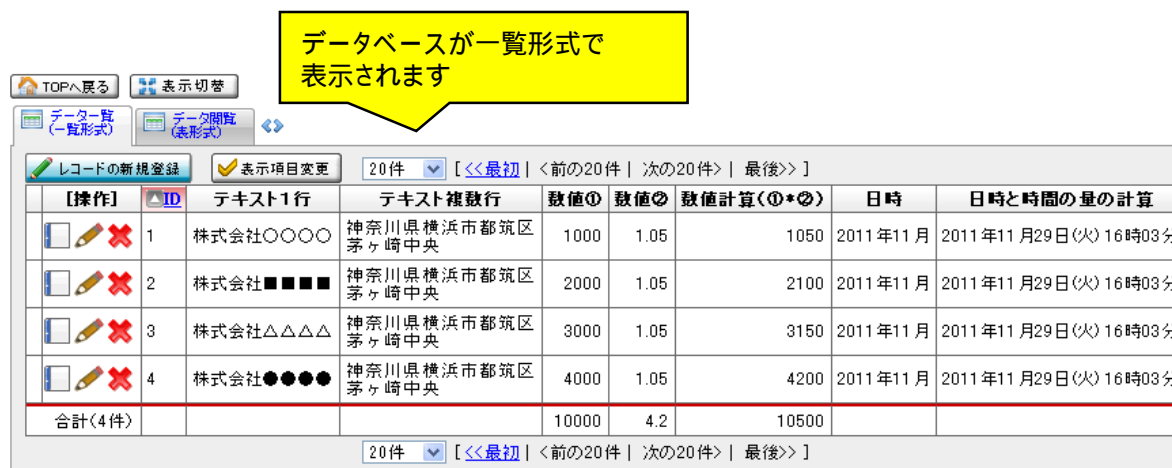
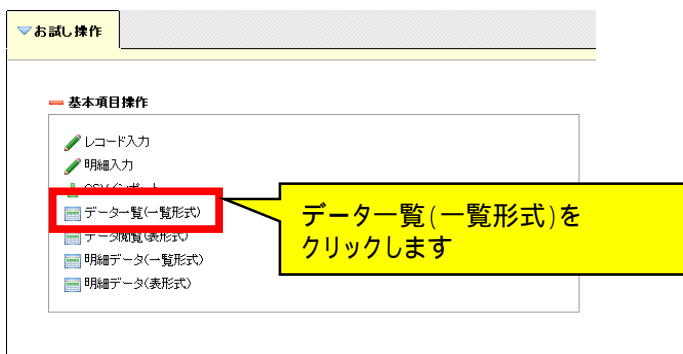
インポートした情報は、基本項目操作メニューの「データ一覧(一覧形式)」で確認することができます。

一覧画面と閲覧画面

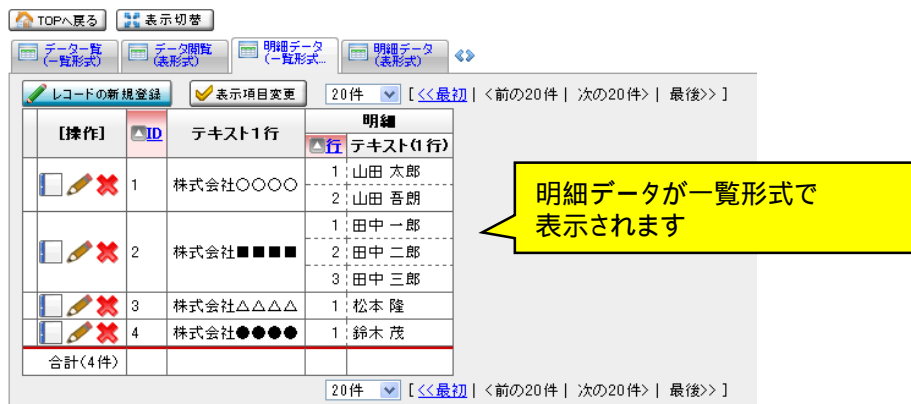
一覧画面

入力したデータベース情報は、一覧形式や表形式で表示することができます。

1. 基本項目操作のメニューから「データ一覧(一覧形式)」をクリックします。



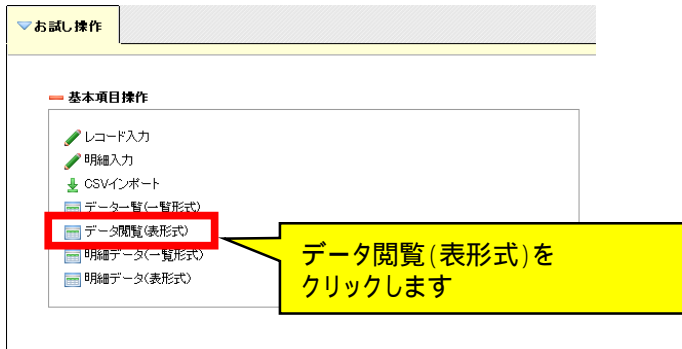
基本項目操作のメニューから「明細データ(一覧形式)」をクリックすると、明細データが一覧形式で表示されます。



一覧画面と閲覧画面

閲覧画面

1. 基本項目操作のメニューから「データ閲覧(表形式)」をクリックします。



基本項目操作のメニューから「明細データ(表形式)」をクリックすると、明細データが表形式で表示されます。

